

1. 化学物質等及び会社情報

発売元 : 株式会社文化雑巾
住 所 : 埼玉県鴻巣市広田3538
電話番号 : 048-578-8953
FAX番号 : 048-578-8954
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性及び刺激性 : 区分1B

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分2（呼吸器系）

水生環境有害性（急性） : 区分3

記載の無いものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ

水生生物に毒性

注意書き／安全対策 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。

取扱い後には皮膚をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

飲食または喫煙をしながらこの製品を使用しないこと。

環境への放出を避けること。

注意書き／応急処置 : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。

皮膚を流水・シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断を受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

注意書き／保管：換気の良い冷暗所で保管すること。施錠して保管すること。

注意書き／廃棄：内容物、容器、廃液を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名	CAS 番号	化審法	安衛法
水酸化ナトリウム（5%以下）	1310-73-2	1-410	公表
水酸化カリウム（5%以下）	1310-58-3	1-369	公表
キレート剤（1～5%）	非開示		
無機塩（1～5%）	非開示		
グリコール系溶剤（1～5%）	非開示		
水	7732-18-5		

危険有害性成分：水酸化ナトリウム、水酸化カリウム

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

嘔吐がある場合は頭を横向きにすること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石鹼で十分に洗い流し、刺激が残っていれば医師の手当て、診断を受ける。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：直ちに、流水で 15 分以上注意深く洗うこと。

洗眼はまぶたを開き水が全体にいきわたるようにする。

コンタクトレンズを着用している場合はできるだけはずすこと。

その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。直ちに口をすすぎ、大量の水を飲ませる等の処置をするとともに医師の手当て、診断を受ける。

但し、患者の意識がない場合には口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡、粉末消火剤、炭酸ガス。

特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生する恐れがある。

特有の消化方法 : 火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されている時は移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去する。

消火作業は風上から行う。

消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際には保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所に立ち入る前に換気する。

風上から作業し、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項

: 河川等に排出され、環境中へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和 : 少量漏出の場合、ゴム手袋を着用し希硫酸等で中和後、ウエス等で拭き取る。

残りは大量の水で洗い流す。

大量漏出の場合、拡散を防止する為、土砂でせき止めし乾燥砂等を使い回収する。

残りは希硫酸等で中和後、大量の水で洗い流す。

危険でなければ漏れを止める。

二次災害防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 必要に応じ、適切な保護具、保護眼鏡、保護手袋を着用する。

局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項 : 扱い後はよく手を洗う。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避け、屋外または換気の良い区域のみで使用する。

適切な保護具（手袋、マスク、保護眼鏡等）を着用すること。
飲み込まないこと。皮膚および眼との接触を避けること。
一度容器から出した液は元の容器に戻さないこと。
容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止すること。
取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止すること。
用途以外には使用しないこと。

接触回避：「１０項の安定性及び反応性」を参照。

保管

適切な保管条件：強酸化剤から離し、容器を密閉する。直射日光、40℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

管理濃度：未設定

許容濃度（暴露限界値・生物学的暴露指標）：日本産衛学会 水酸化カリウム：2 mg/m³（最大許容濃度）
水酸化ナトリウム：2 mg/m³（最大許容濃度）
ACGIH 水酸化カリウム：TLV-STEL Ceiling 2mg/m³
水酸化ナトリウム：TLV-STEL Ceiling 2mg/m³

保護具：適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

９．物理的及び科学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）

外観	： 無色透明液体
pH（5%液）	： 13±0.5
比重	： 1.15±0.02（25℃）
融点・凝固点	： データなし
臭い	： わずかな原料臭
粘度	： データ無し
溶解度	： 水に任意に溶解
凝固点	： 0℃以下
沸点	： データなし
引火点	： データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定

危険有害反応性 : 強酸、強酸化剤と激しく反応する。

避けるべき条件 : 燃焼、混触危険物質との接触。加熱、火源、混接触物質との接触。

混触危険物質 : 酸化剤、金属類、強酸、アンモニウム塩。

危険有害な分解生成物 : CO_x 、水素、窒素化合物

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び刺激性 : 製品についての情報 : つなぎの法則により、区分 1B とした。

成分についての情報 : 水酸化カリウム pH11.5 以上の塩基成分の水酸化カリウムが 1%以上含有されているので、区分 1 とした。

成分についての情報 : 水酸化ナトリウム

ブタの腹部に 2N(8%)、4N(16%)、6N(24%) 溶液を適用した試験で、大きな水疱が 15 分以内に現れ、8%および 16%溶液は全表皮層に重度の壊死を生じ、24%溶液においては皮下組織の深部に至る壊死を伴う無数かつ重度の水疱が生じたとの報告〔SIDS (2009)〕、およびウサギ皮膚に 5%水溶液を 4 時間適用した場合に重度の壊死を起こしたとの報告 (ACGIH (7th, 2001))に基づき区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

: 製品についての情報 : つなぎの法則により、区分 1 とした。

成分についての情報 : 水酸化カリウム pH11.5 以上の塩基成分の水酸化カリウムが 1%以上含有されているので、区分 1 とした。

成分についての情報 : 水酸化ナトリウム ウサギ眼に対し 1.2%溶液ないし 2%以上の濃度が腐食性濃度との記述〔SIDS (2009)〕、pH は 12 (0.05% w/w)〔Merck (14th, 2006)〕であることから区分 1 とした。

呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。

発がん性 : データ不足のため分類できない。

生殖毒性 : データ不足のため分類できない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 製品についての情報 : つなぎの法則により、区分 2(呼吸器系)とした。

成分についての情報 : 水酸化カリウム

粉じんまたはミストを吸入曝露すると鼻、気管支に熱傷等の障害を起こし、肺水腫にまで至る (SIDS (2001))、(ACGIH (2001))、(PATTY (5th, 2001)) の記載により区分 1(呼吸器系)に分類した。

成分についての情報 : 水酸化ナトリウム

粉じんやミストの急性吸入ばく露により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難などが引き起こされ、さらにばく露が強いと肺水腫やショックに陥る可能性がある (PATTY (5th, 2001)) という記述により区分 1 (呼吸器) とした。

特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露) : データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性 : データ不足の為分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性（魚毒性） : 水生環境急性有害性：つなぎの法則により、区分 3 とした。
水生環境慢性有害性：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：水酸化ナトリウム
水生環境急性有害性： 甲殻類（ネコゼミジンコ）での
48 時間 LC50 = 40mg/L（SIDS, 2004, 他）であることから、区分 3 とした。
生態蓄積性 : データなし
残留性・分解性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）として委託し処理すること。
汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って
適切に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class） : クラス 8
国連番号（UN No.） : 3266

国内規制

陸上規制情報 : 該当しない。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。
転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 第57 条の2、施行令第18 条の2 通知対象物（水酸化ナトリウム）
労働安全衛生規則第326 条（水酸化ナトリウム）
PRTR法 : 第一種 407号 ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル 基の炭素数
が1 2 から1 5 までのもの及びその混合物に限る。）

毒物および劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
船舶安全法	: 危規則第2, 3 条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
航空法	: 施行規則第194 条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
海洋汚染防止法	: 施行令別表第 1 有害液体物質 (Y 類) (水酸化ナトリウム)

1 6. その他

引用文献	13901 の化学商品 (化学工業日報社)
	国際化学物質安全性カード (ICSC)

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありません。
何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。